

Rencontre avec Damien ODOUL, cinéaste français en résidence à la Villa Kujoyama

ヴィラ九条山レジデント／フランス人映画監督 **ダミアン・オドゥールを囲んで**

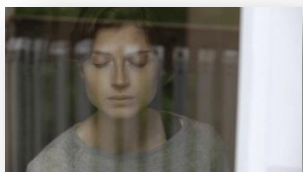
日時：2017年7月29日（土）17h15～19h45

会場：札幌アリアンス・フランセーズ 札幌市中央区南2条西5丁目10-2南2西5ビル2F

参加費 500円（大学生以下無料）／定員 40名／通訳付／要予約

※定員に達した場合はお断わりすることがございます。あらかじめご了承ください。

ダミアン・オドゥール監督作品『*La richesse du loup*（優雅な狼）』（日本語字幕付き）上映後、主演女優であり編集も担当したマリー＝エヴ・ナドーを交えて、制作過程のエピソードや作品の魅力について語ります。



あらすじ：オラフは姿を消した。マリに残されたのはおよそ100時間の録画テープ（彼の人生の最後の6年間）が入っている箱とメモ帳のみ。マリはこの「人間パズル」を組み直そうと決める。来る日も来る日も彼の人生の短編を見ながら、愛している男が歩んだ道を追い、彼の失踪を理解しようとする。

※ヴィラ九条山はアンスティチュ・フランス日本の5つの支部の1つで、ベタンクール・シューラー財団とアンスティチュ・フランスの支援を受けています。

ダミアン・オドゥール

短編・長編フィクションの他、ドキュメンタリー映画を制作。代表作品に2001年ヴェネチア国際映画祭で審査員特別賞と国際映画批評家連盟賞を獲得した『*Le Souffle*／息づかい』（2000年）や2015年ジャン・ヴィゴ賞を獲得した『*La peur*／恐怖』（2015年）などがある。また詩人としても活動しており、2007年にはビデオと写真を用いたインスタレーションをパリのギャラリーカメル・メヌールで発表。他にも知的障害のあるアーティストたちを招いて、アール・ブリュットと環境を結びつけたユニークな創作体験なども実施している。

マリー＝エヴ・ナドー

ケベック出身の女優・映画監督。代表作品として中編ドキュメンタリー『*Enfants de sourds*』（2018）があげられる。2010年以降は、主にダミアン・オドゥール監督作品の編集を手掛けている。また、アール・ブリュット関連の活動にも参加している。

